NIE実践報告

1．タイトル：新読もう！読む、聞く、考える、表現する！

2．学校名

神奈川県川崎市立商業高等学校（定時制）

3．実践者名（代表者名）

横田　智子

4．学年

第1・2・3学年、社会人聴講生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

特講公民（選択教科）　56人

6．単元（本時の学習課題）名

生命を中心とした倫理の諸課題

7．目標(狙い)

生命に関する新聞記事を中心に読み、倫理の諸課題に関する興味・関心を喚起させ、他者の意見を聞き、有用な情報を選択し、自ら考えたことを記録し、表現することができる。文化祭にパネル発表できる。

8．評価の視点

授業毎に新聞を読み、自らの考え発表しレポート提出。学期に1回、自らの選択した課題レポートを発表することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

前期（18時間）：教員が選択した記事を中心に読み、レポート作成。全体で発表する。
後期（17時間）：自ら新聞を読み、レポートを作成し、パネル発表及び全体発表。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

今年度は生命に関連する諸課題を中心に授業を展開した。

前期は毎時、教員の選択した生命に関連する記事を紹介し話題の提供（読む・聞く）を行い、その感想をまとめる作業（考える・表現する）が中心であった。学期の終了時には、各自が自由選択課題でレポートを作成し、全員の前で発表し、発表を聞いた生徒はその内容に対して、意見や感想をレポートした。今年度前期に提供した話題は、「孤独死」「アフガン問題」「自殺」「飽食」「食品偽装」「アフリカ会議」等である。

後期は文化祭やHAPPY NEWSへの投稿に向けて、各自の興味や関心のある分野を新聞から探すという作業を中心に行い、リポート作成した。リポートは毎時間提出し、文化祭やHAPPY NEWSへの投稿にふさわしい内容になるように表現方法を工夫したり、丁寧に清書した。

リポート提出が時間内に終了しない者は、期日指定で後日提出となるが、多くの生徒は、時間内に提出できている。一方、表現力の乏しい生徒の中にはレポートがほとんど書けない生徒もおり、個別対応で支援した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

1年を通して「命」あるいは「生きる」という課題に向き合うことができた。新聞を深く読む、比較しながら読む練習になった。与えられた「生」について今後も向き合っていきたい。神奈川新聞の記事、NIEの記念にしている（受講生の感想）。

12．成果と課題

・様々な記事や他者の意見から、新しい知見を得たり、自らの考えを深めたりすることはできた。当初はリポートの作成も難しい生徒がいたが、回を重ねて慣れるに従って、文章作成能力も格段に向上した生徒が多数いた.
・発表授業では、発表を希望する生徒が多数見受けられ、他者の意見を聞くという姿勢も身につけられた。
・学校以外で新聞を読む機会が少ない生徒が多く、授業以外で新聞を読む習慣をつけることが難しい。